

平成28年度「田んぼの学校」指導者養成研修 in 栃木
開催要項

- 1 目的 本指導者養成研修は、農村地域の自然や農業環境などの地域の資源を「田んぼの学校」活動でどう活用しているか、「田んぼの学校」を実施するとどのような効果があるかを学ぶことができます。
今回の研修では、栃木県宇都宮市白沢町でグラウンドワーク活動を展開している「NPO法人グラウンドワーク西鬼怒」の取組を参考にしながら、地域資源の活かし方、プログラムを実施する際の手順（現地実習を含む）、様々な人と連携をとりあっていくためのヒントなどを学びます。
- 2 主催 一般社団法人 地域環境資源センター
- 3 協力 NPO法人グラウンドワーク西鬼怒
- 4 開催日 平成28年7月1日（金）13：00から
平成28年7月2日（土）15：30まで（1泊2日）
- 5 会場 (1)研修会場
西鬼怒川地区グラウンドワーク活動センター
（栃木県宇都宮市白沢町2411番地）
(2)宿泊場所
星ふる学校「くまの木」
（栃木県塩谷郡塩谷町大字熊ノ木802番地）
※JR宇都宮駅～研修会場～宿泊場所の送迎バスを手配します。
- 6 対象 農村環境を活用した自然体験・環境教育に関心のある方、多面的機能支払交付金活動組織の役員・構成員、自治体職員の企画担当の方、土連職員、その他「田んぼの学校」活動に関心のある方など
- 7 定員 30名（最小催行人員15名）

- 8 費用 (1) 受講費：5,300円 (保険料含む)
(2) 宿泊費：5,800円 (1泊2食)
(3) 交流会費及び2日目昼食代：1,500円程度 (調整中)

☆以下の点について、予めご了承ください。

- ・受講料の納入は指定の銀行口座への振込のみとさせていただきます。
- ・お部屋は相部屋 (15人用の大部屋に) 6～8人となります。

9 参加申込

- (1) 申込方法 別紙「参加申込用紙」に必要事項を記入いただき、FAXまたはメールにて以下の宛先にお送り下さい。
- (2) 申込宛先 (一社) 地域環境資源センター 農村環境部 宛
FAX：03-3432-0743
メールアドレス：tanbogk@jarus.or.jp
- (3) 申込期限 平成28年6月22日(水)

10 申込の受理および受講決定

お申込は、先着順に受理します。参加者には開催日1週間前を目途に「事前資料」「受講料請求書」をお送りします。

また、最小催行人数に達せず中止となる場合は、6月24日までにご連絡させていただきます。

11 集合場所及び送迎バスについて

- (1) 公共交通機関でお越しの方・・・JR宇都宮駅東口12：10集合
JR宇都宮駅より送迎バスにてご案内します。
- (2) 自家用車でお越しの方・・・直接、研修会場へ12：50までにお越し下さい。

12 講師紹介

- (1) 水谷 正一 (宇都宮大学 名誉教授)
専門は、水資源の計画と管理、モンsoonアジアの比較灌漑論、水辺生態系の保全計画論。社会活動として、メダカ里親の会会長、NPO法人グラウンドワーク西鬼怒理事長などに取り組みられている。
- (2) 永井 光二 (NPO法人グラウンドワーク西鬼怒 理事・事務局長)
白沢町の田んぼ周りの生態系保護活動に9年従事。農地・水環境保全向上対策に取り組む旧河内町地区の13活動組織の事務処理を受託する「NPO法人エコネット河内」の理事・事務局長を経て、平成25年5月にグラウンドワーク西鬼怒の理事・

事務局長に就任。

- (3) 三上 光一（一般社団法人地域環境資源センター主任研究員）
博士（学術）。専門分野は植物生態学。博物館、大学、農業環境技術研究所等の
研究員を経て現職。農業農村地域の自然環境に関する研究、教育普及に従事。

1.3 その他

- (1) 農業農村工学会技術者継続教育機構
本研修は、農業農村工学会技術者継続教育機構の認定プログラムに
申請中です。本研修のCPDは、9ポイントとなる見込みです。

1.4 問い合わせ先

一般社団法人 地域環境資源センター 農村環境部 担当：山崎、藤田
住所 〒105-0004 東京都港区新橋五丁目34番4号
農業土木会館6階

電話 03-5425-2461

FAX 03-3432-0743

「たんぼの学校」ホームページ <http://www.tanbonogakko.net/>

E-mail: tanbogk@jarus.or.jp

1.5 プログラム

次頁



この活動は、子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）の助成金の
交付を受けて行うものです。

15 プログラム

- * 屋外での実習もありますので、動きやすい服装でご参加ください。また、雨天でも基本的に屋外には出ますので、雨具等もご準備下さい。

【1日目：7月1日（金）】

時間	所要	講義・実習	概要
12:45		集合、受付	
13:00	15分	開会(挨拶、趣旨説明、スタッフ紹介等)、オリエンテーション	
13:15～13:45	30分	「田んぼの学校」指導者の役割	(室内・講義) ・今、求められている人材とは
13:45～14:45	60分	アイスブレイク (お互いを知る時間)	(室内・実習) ・緊張を解きほぐす ・参加者同士の相互理解
14:55～15:55	60分	グラウンドワーク西鬼怒について①	(室内・講義) ・団体の概要 ・活動の紹介(地域資源の活かし方、都市と農村の交流) ・農業との関わり
16:05～17:45	100分	グラウンドワーク西鬼怒について② (屋外)	(室外・実習) ・フィールド見学
18:30～21:00		夕食／情報交換会	

【2日目：7月2日（土）】

時間	所要	講義・実習	概要
9:00～10:00	60分	農業農村環境における環境学習	(室内・講義) ・環境学習の目的と役割 ・プログラム設計 ・地域資源の活用と協働体制の構築 ・環境学習会実施時の留意点
10:10～12:00	110分	生きもの観察会を題材とした環境学習会(屋外)	(室外・実習) ・観察会の目的と役割 ・水田環境の生物相 ・生きもの観察会の実施手法 ・生態系保全とモニタリング手法
12:00～13:00		昼食	
13:00～14:10	70分	それぞれの取組・「田んぼの学校」事例紹介等	(室内・実習) ・それぞれの取組・これからやりたいことなど情報交換 ・「田んぼの学校」事例紹介
14:20～15:00	40分	「田んぼの学校」活動の効果	(室内・講義) ・「田んぼの学校」活動に期待すること ・活動の効果
15:00～15:30	30分	ふりかえり	
15:30		終了・解散	

* 各講義、実習の間で適宜休憩をとります。

* 効果的な研修となるようカリキュラムを変更することがあります。予めご了承ください。

